

日本港湾協会小史 No.3 事務所の変遷 (1)

日本港湾協会の事務所は、現在、東京都港区赤坂三丁目の国際山王ビルにある。ここに移転してきたのは平成14年4月である。それまでは、港区虎ノ門一丁目の金刃比羅神社の境内にあった虎の門琴平会館ビルに事務所を置いていた。金刃比羅神社は讃岐の金毘羅様一派で、当然海の神様である。海の神様であったから選んだ可能性もあったので、琴平ビルの建替えのため立ち退きを要請された時には、岡部保氏など大先輩をお訪ねし、新築後に再度戻らなくてはならないかご意見を伺った。お答えは「偶然ですよ」ということだったので、赤坂移転は仮住まいでなく、本格的な引越しとすることにした。

外堀通りをはさんで「山王神社」がある。今度は山の神様である。山の神様ながら、一昨年御用始に参拝をしおみくじを引いたところ「吹く風に 沖邊の波の高けれど 心静けき わが港かな」という歌が書かれてあった。山の神様も港湾協会を歓迎してくれたのかもしれない。

(お断り) ニュースレター冒頭のこの欄は、会長と理事長が執筆することとなっている。良い機会なので、理事長担当の回は日本港湾協会の歴史をたどることとしている。ここ2回は事務所の変遷を記しているが、手違いでその1と2が逆転してしまった。さらに、四谷にあった事務所はRC造り2階建ての小型のビルで、しもた屋風の事務所ではなかった、敷地も62坪、焚き火のできる庭など無かったという読者からの指摘をいただいた。感謝をし、お詫びと訂正をしたい。とすると、どこで焚き火をする恐れがあったのか、謎は解けないままとなってしまった。
(栢原 英郎)

港湾整備・振興促進運動

港湾関係者新春懇談会開催される

去る1月25日(木)東京全日空ホテルにおいて全国の港湾関係者約500名が参加して盛会に開催されました。

この催しは、港湾整備促進協議会の構成団体をはじめとする港湾関係者が前年年末に閣議決定された港湾関係予算の編成に当たりご尽力戴いた与党国会議員の先生方をお招きして御礼の意を込め開催しています。

開会にあたって主催者を代表して御巫清泰日本港湾協会会長挨拶の後、ご来賓の松村龍二国土交通副大臣、古賀 誠自由民主党港湾議員連盟会長よりご挨拶を戴き、このあとご来賓の国会議員の先生方をご紹介し、平松守彦日本港湾振興団体連合会会長の乾杯で懇談に入りました。

懇談会には杉浦正健法務大臣、自由民主党中川秀直政調会長、港湾議員連盟の泉 信也副会長、保岡興治幹事長、渡辺具能事務局局長始めとご来賓の衆参両院の国会議員77名が出席され新春の会を盛り上げました。

懇談会半ばで協会機関誌『港湾』の読者の投票により選ばれた「ポート・オブ・ザ・イヤー2005」の授賞式が執り行われ、グランプリに輝いた新潟県「姫川港」の代表者米田糸魚川市長及び新潟県高橋港湾空港副局長に御巫会長より表彰状と記念の盾が贈られました。この後全国市長会港湾都市協議会副会長の辻田 実館山市長が中締めの挨拶を行い、和やかな内に散会いたしました。



港湾関係者新春懇談会

続いて、パネルディスカッションにうつり、「寄港促進—日本の港の持つ潜在力とその達成のための方策」、「クルーズ船社が母港及び寄港地に求めるもの」、「日本のクルーズ市場活性化に向けた方策」の3つのテーマで、様々な議論と意見交換が行われました。

各クルーズ社からは、日本の港に対する印象や期待が述べられるとともに、寄港を促進するには、

- ①客にとって魅力的なアトラクションや有意義な体験を売り物にするべき
- ②目玉は何か(例えば、ゴジラ、7人の侍、相撲、ホンダ工場、温泉…)
- ③英文の案内表示や、買い物で米ドルが使えるような施設が欲しい
- ④クルーズの何百人となると、無料のパンフ・地図等が十分に必要との意見がありました。

一方、以下のような課題もあげられました。

- ①強制水先に2万ドル必要となる港があるなど、入港に関する費用が高い。
- ②大型船の対応ができる港湾であり、どのような天候でも対応ができること、また、バリアフリーや、改正SOLAS条約への対応が必要であること。
- ③日本のカボタージュは制約が多い。もっと柔軟に対応出来ないか。
- ④団塊の世代をターゲットに代理店の育成が必要。

翌17日には、(株)日本港湾協会算理事による挨拶の後、海外のクルーズ6社と我が国16港の港湾関係者がそれぞれヒザを交えて話し合う初めての商談会が持たれ、予定時間を大きく超過して熱心なPR活動が行われました。



シンポジウム



商談会

「ジャパン・クルーズ・シンポジウムin横浜」開催

国土交通省、国際観光振興機構、(株)日本旅行業協会及び当協会が主催する、我が国で初めての米国クルーズ関係者を招いたシンポジウムが横浜で開催されました。

1月16日、国土交通省の大西審議官(観光担当)による「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の紹介で始まり、シートレード社のクリストファー・ヘイマン社長が「世界のクルーズ事情と日本の位置」について講演を行いました。



国づくりと港について考えるシンポジウム 3月8日開催

昨年7月に国土形成計画法が制定され、新たな国土計画作りが始まりました。地域活力の掘り起こし、東アジアとの連携など、新しい国土の形成に貢献する港湾への期待は今後ますます大きくなると考えられます。このような観点から当協会では、(財)国土計画協会と共催して、シンポジウムを企画しました。参加を希望される方は、当協会HPからお申込みください。

(基調講演)

「国土形成計画と港湾政策」 森地茂 政策研究大学院大学教授
(パネルディスカッション)

国づくりと港について考える

コーディネーター 栢原英郎 日本港湾協会 理事長

パネリスト 小野憲司 国土交通省国土計画局計画官

森野美德 都市ジャーナリスト

家田 仁 東京大学大学院工学系研究科教授

後藤国利 大分県臼杵市長

廻 洋子 淑徳大学国際コミュニケーション学部客員教授

日時：3月8日(水) 13:00-16:10

場所：海運クラブ2Fホール(千代田区平河町2-6-4海運ビル)

入場料：無料

※定員は300名です。人数に制限がありますのでお申込みはお早めをお願いいたします。

平成18年年間行事予定

2月22日(水)……第289回理事会(於：東海大校友会館)

3月7日(火)～8日(水)……港湾講演会及びシンポジウム(於：海運クラブ)

3月27日(月)……表彰委員会(於：協会会議室)

3月29日(水)……港と文化を語る集い(於：江戸東京博物館)

5月10日(水)……第290回理事会(於：東海大校友会館)

5月24日(水)……評議員会・通常総会・港湾功労者等表彰式・交流パーティー(於：高知市)

5月25日(木)……シンポジウム(於：高知市)

6月27日(火)～29日(木)……港湾行政実務初任者研修(於：全国都市会館)

7月……フォトコンテスト募集開始
(9月末締切、11月下旬審査結果発表)

7月15日(土)～23日(木)……「海フェスタとやま」への協賛

10月中旬……理事会

10月11日(水)～13日(金)……港湾行政研究会(事務)(於：船の科学館)

10月25日(水)……港湾整備振興全国大会(於：砂防会館)

11月8日(水)……北東アジア港湾協会会長会議(於：宮崎市)

11月14日(火)～16日(木)……港湾行政研究会(技術)(於：船の科学館)

出版 物

出版物の「代金引換」販売について

会員の皆様よりご要望の多くありました書籍の「代金引換」販売を1月から開始しております。

なお、これに伴い現金書留は廃止いたしました。

申込み用紙につきましてはHPより申込書を印刷し、FAXにてご返送下さい。

注意事項

- 1件につき書籍代の他に、下記の代金引換手数料がかかります。

代金引換額	代金引換手数料
1万円	315円(本体価格300円、消費税15円)
1万円～3万円未満	420円(本体価格400円、消費税20円)
3万円～10万円未満	630円(本体価格600円、消費税30円)
10万円～30万円未満	1,050円(本体価格1,000円、消費税50円)

- 一回のお申込みの上限金額は30万円となります。30万円を超える場合は、金額に応じて再度代金引換手数料がかかります。
- 運送会社が書籍をお預かりできる期間は、発送日より7日以内(土日・祝日を含む)となりますので、長期休暇・不在等にはご注意ください。
- 領収書は原則として送付状となります。(ご記入いただいた部署名・氏名がそのまま宛先となります。)なお、別途必要な場合には備考欄にその旨をご記入下さい。
- 送料が別途必要な書籍「日本の港湾2005」につきましては、書籍の価格に送料1,000円を加えた額が代金引換額となります。
- 非会員様の場合、FAX受け取り後、当協会より確認の電話が入ることがございます。

港湾協会では、以下の図書、雑誌等を出版しています。

〔(非会員価格)〔送料〕年月は発行年月〕

- 港湾土木請負工事積算基準(平成17年度改訂版)
¥10,000(¥12,000)平成17年4月
- 船舶及び機械器具等の損料算定基準(平成16年度改訂版)
¥2,000(¥3,000)平成16年4月
- 港湾関係補助金等交付規則実施要領(平成17年版)
¥4,500(¥4,500)平成17年7月
- 港湾工事共通仕様書(平成16年版)
¥5,500(¥6,500)平成17年3月再版(一部改訂)
- 港湾設計測量・調査等業務共通仕様書(平成13年版)
¥3,500(¥4,500)平成15年4月再版(一部改訂)
- 海岸保全施設の技術上の基準・同解説
¥6,300(¥6,300)平成16年6月
- 港湾行政の概要(初任者用)(平成17年度版)
¥8,000(¥10,000)平成17年6月
- 港湾行政の概要(事務者用)(平成17年度版)
¥10,000(¥10,000)平成17年10月
- 港湾行政の概要(技術者用)(平成17年度版)
¥15,000(¥15,000)平成17年11月
- 数字で見る港湾(2005年版)
¥1,000(¥1,000)平成17年7月
- 日本の港湾2005
¥16,000(¥16,000)【¥1000】平成17年3月
- 機関誌「港湾」¥1,050(¥1,050)月刊誌
- よしお君とでろりん ¥1,400(¥1,400)平成17年7月
- 港湾計画「新」読本 ¥3,150(¥4,200)平成17年7月
- 公有水面埋立実務便覧(全訂2版)
¥9,000(¥10,000)平成14年6月

価格はすべて消費税を含んでいます。送料を含まない場合、1冊の送付料金を記載しています。多数の場合はお問い合わせ下さい。購入方法は、以下のとおりです。

①当協会受付にて販売しております。

②送付をご希望の場合には、郵便振込又は代金引換にてお申し込み下さい。

〔郵便振込の場合〕郵便局の振込用紙に書籍名、冊数をご記入下さい。

郵便振込口座：00160-63105、口座名：社団法人 日本港湾協会